

※ 園長のひとりごと

今年度の発表会も、昨年同様２部構成で１１月１５日に開催する事が出来ました。保護者の皆様に加え、祖父母の皆様にも園児の元気な姿をお見せすることができ安堵しております。会場への入場時間や入場方法については、昨年のアンケート結果から変更させて頂いた点や、昨年同様ステージで演じるクラスに応じた観客席の移動して頂いたり、保護者の皆様にくいつかの「お願い」をお聞き頂き、発表会を進めて参りました。終了後のアンケートを現在回収中ですが、概ね「良かった」とのご回答を頂いており、「年少になってできる事が増えて良かった」や「子ども達の成長に合った内容でした」等のご意見も頂戴したのですが、半面「ビデオカメラの場所取り」や「上演中のおしゃべり」などのご指摘を頂いており、来年度に向け更に見直しや改善策を検討して参りたいと存じます。

高市政権がスタートして約二か月が経過し、ガソリン減税や台湾発言などマスコミを賑わせていますが、身近な食材料費をはじめ物価高騰の勢いが止まらないどころか昨年のお米の値段を超えてしまいました。今年３歳以上児の給食材料費と主食費の値上げをお願いし、食材費の推移を見守って参りましたが、具体的ではないものの１１月末にこども家庭庁より物価対策に対する加算・補助が示され、更なる保護者負担は回避出来るのではないかと考えています。（まだ、安堵は出来ませんが・・・）政権内部では減税や物価対策に充てる財源確保に奔走している事と思いますが、何らかの対応策を取って頂くこと自体は有難い事なのですが、それとは別に農水大臣の米の価格について「価格はマーケットで決まる」との発言に驚いています。単なる食品で有れば市場が価格を決定することは健全と言えますが、国民の主食たる米価を市場に委ねて良いものでしょうか？お米の値段が高止まりするなら、パスタやうどん・パンに主食が変わるかもしれません。原材料の大半は輸入小麦です。また、アメリカからはお米の輸入拡大を強く要求されています。国民が安価なカリフォルニア米を選ぶのも、パスタを選ぶのも市場に委ねると言うのなら、食糧安全保障の観点で欠落しているのではないかと、疑ってしまいます。これからも大好きなお米が食べられるのか心配です…

ご注意下さい。

本格的な降雪期を迎え、渋滞や事故など例年市内の交通事情も悪化する時期ですので、送迎には時間の余裕をもってお願いします。

途中渋滞等によりお迎えが遅れるような場合は、電話連絡など頂けると子どもたちも安心してお迎えを待つことが出来ます。

新年度継続の手続きが始まっております。書類の受付けは**１２月５日迄**となっております。記載内容の確認も必要となりますことから期日に間に合うよう早めの書類ご提出をお願い致します。